



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



日本共産党
HP

参議院議員
たけだ良介

参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

禁無断転載
複写配布

県民要望で県と交渉

日本共産党地方議員団

日本共産党は11月18、19日、県民の願いを持ち寄つて、富山県議会議事堂第2委員会室で県の各部局と交渉しました。その概要をお知らせします。

境川ダム建設負担金

使用していないのに 水道料に上乗せするな

【要望】県内最大の多目的ダム「境川ダム建設負担金（未利用水分）を上水道に乗せさせないこと。境川ダムの上水道用水分は過剰投資である。

子撫川ダムでさえその最大供給量日量6万トンに余裕を残している。子撫川ダムをつくるときの小矢部市の水需要を日量2万5千トンと見込んでいたが、現在実際には日量5297トンである。県が見



県と交渉する日本共産党議員団。左端、砂田市議。前列右端、津本県議。中央、火爪県議=9月18日、県議会4階第2委員会室

込み違いをして過剰投資した分を現在の水道利用者に負担させるのは筋違いではないか。それに加えて境川ダムでの未利用水分11万5千トンを一滴も上水道用に使っていないのに、水道料金に上乗せしている。



気候危機打開へ 公共施設の省エネ対策を

【要望】温室効果ガス排出を抑えるため、市町村とも連携し、既存公共施設については断熱対策と省エネ対策をすすめ、新築等の場合にはゼロエネルギー化を促進すること。太陽光発電用パネルを県、市の公共施設の屋根への設置に計画をもって取り組むこと。その際、環境省は2030年までに50%、40年までに100%の設置を目指し、調査費補助を計画している。これを積極的に活用し、促進すること。

【知事政策局】県施設はもとより市町村の公共施設においても再生可能エネルギー

「まずは水を確保しておく」 企業局

【企業局】今後の渇水や災害に備えて必要な水源と考える。水不足が生じた場合に備えて対応できない。

【穴倉氷見市議】その備えに11万5千トンが必要との根拠は何か。

【企業局】どんな災害が起き、どれだけの水不足が生ずるか、具体的設定ができないが、まずは水を確保しておくのだ。

【穴倉氷見市議】気候危機のもと、災害予測では渇水より豪雨災害が多いのではないかと。将来、水が足りなくなるからと、何年間も長期的に水をためておく。それを使わない住民から毎日毎日水道料として徴収するのは納得できない。

【津本県議】ダムに貯めてある水は浄水しないと上水道に使えない。災害が発生してもすぐには使えないし、現に使ってもしないのに、なんで市民が水道料金として払わねばならないのか、誰も納得できない。この負担をなくす方向でがんばって欲しい。

「未利用水の有効活用を検討」 企業局

【要望】境川ダム建設負担金（未利用水分）の抜本的解決には、洪水調節や関西電力（現在わずか4%の負担）などに応分の負担を求め、県企業局の負担を軽減する。県としてこの負担割合を見直すこと。

【企業局】境川ダムは洪水調節や灌漑用水、水道用水、発電などを目的として平成5年度に完成した。負担割合は特定多目的ダム法に定められている。水道用水は21・9%、発電は4%である。水道用水分は県の貴重な財産であり、有効な活用方法がないか検討していく。高い水道料金であることは把握している、住民の負担軽減になるよう、引き続き検討したい。

県企業局との交渉は19日午後に行われました。砂田市議は、議員定数問題で小矢部市議会と自治会連合会の懇談会があり、退席しました。そこで、ワンチーム共産党で交渉に当たりました。

ギーや省エネルギーの施策が進むようワンチーム富山連携推進本部において情報共有しながら、県内の公共施設における対策が進むようにしたい。

再生可能エネルギーの活用、普及を

【要望】再生可能エネルギーについて、地域の特性に合わせて推進されるよう自治体と協力して取り組むこと。小水力発電や太陽光発電用パネルの普及や、一般住宅や民間施設でも断熱・省エネ対策を進めること。太陽光パネルと合わせて蓄電池の設置や太陽熱温水器による温水の活用を図ること。

【知事政策局】小水力発電の目標45カ所が現在53カ所に。本県の特性を活かした再生可能エネルギーの活用を進めてい

る。今後、カーボンニュートラル実現に向けた2030年度における数値目標を設定したい。太陽光や水力、風力など種別毎の目標も設定したい。複数自治体での広域連携事業についても具体的な可能性についても検討している。

剪定枝

バイオマス資源として活用を

【要望】屋敷林の剪定枝の処理が市民の負担になっている。市は将来的にはバイオマス資源として利用する事を考えているが、技術的・財政的支援をすること。散居景観の保全上喫緊の課題になっている。

【知事政策局】市町村と連携して研究していきたい。